

「支え手」「受け手」という関係を超えて、誰もが地域活動に参画していく地域をめざします。そのために、現在、地域の福祉活動やボランティア活動を行なっている人や団体、企業を支援するだけでなく、新しく活動に参加する人や団体、企業が増えるようなきっかけづくりを行います。

取組みの方向性	具体的取組み
社会福祉法人や企業との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> 地 地域にある社会福祉法人や企業の活動に興味を持つ。 地 社 市 地域住民等と社会福祉法人、企業が出会い話ができる場や関係性をつくる。 社 市 社会福祉法人に対し、公益的な取組について、助言や情報提供を行う。 社 市 企業の社会貢献活動と地域課題のマッチング機能を担う中間支援団体との連携を強化する。 社 企業や店舗と協力し、フードドライブ活動を進める。 市 企業の地域貢献が、社員の意識向上にもつながるような、新しい企業と福祉との関係性をつくる。 市 市の入札で協力雇用主の受注機会の増大を図り、保護観察対象者等の就業機会の確保を推進する。
一步踏み出せる多様な参加機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> 地 様々な集まりや行事・活動に周囲の人を誘って参加する。 地 社 市 地域活動にとって貴重な財源である「赤い羽根共同募金運動」等に協力する。 地 社 市 「役に立てるかもしれない」「それなら手伝える」と思えるような広報の工夫をする。 地 市 市民活動を持続可能なものとするため、活動団体の多様な財源確保を支援する。 社 ボランティア活動に役立つ情報提供やボランティアの紹介等を行い、ボランティア活動をサポートする。

Voice!

地域のみなさんの声

実際に参加してみると、「これくらいならできる」と自信にもなるし、楽しい。「小さなことができることがある」と知れば「それなら手伝える」という人は多いと思います。

『ちよいボラ』参加者

地域貢献は法人としても望んでいるところ。地域あつての自分たちで、知ることで協力できる幅が広がります。

メゾンマリア
(ライフレスキュー久留米連絡会登録法人)

(写真:キッズクラブ(メゾンマリアこども食堂)の様子)

